

安全データシート

1. 製品及び会社情報

- ・製品名 : 比較電極用内部補充液
- ・製品コード : 213821
- ・供給者の会社名称 : 株式会社エイアンドティー
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0466-86-8660
- ・問い合わせ先 : 株式会社エイアンドティー カスタマーサポートセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0120-487-030
- ・推奨用途 : **イオン選択性分析装置の電極補充液**
- ・使用上の制限 : 所定用途以外に使用しないこと

2. 危険有害性の要約

特定の危険有害性
特になし

GHSラベル要素

- 絵表示又はシンボル : 該当なし
- 注意喚起語 : 該当なし
- 危険有害性情報 : 該当なし

- 注意書き : **【安全対策】** : 該当なし
- 【応急措置】** : 該当なし
- 【保管】** : 該当なし
- 【廃棄】** : 該当なし

国/地域情報 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別 : 混合物
- ・製品名 : 比較電極用内部補充液
- ・別名 : REF 内液(直販)
- ・内容物 : 20mL
- ・成分及び含有量
 - 塩化カリウム : 20~22 w/w% (3.3M)
 - ・化学物質を特定できる一般的な番号 : CAS 番号 7447-40-7
 - ・官報公示整理番号 : 化審法化学物質 1-228

4. 応急措置

- ・吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合 : 口の中を洗浄し、多量の水を飲み、医師の診断/手当てを受けること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状
 - 急性症状 : 吸入 : データなし
眼 : データなし
経口摂取 : データなし
 - 遅発性症状 : データなし
- ・最も重要な兆候及び症状 : データなし

5. 火災時の措置

- ・適切な消火剤 : 周辺火災に適応した消火剤を使用する。
- ・使ってはならない消火剤 : データなし
- ・火災時の特有の危険有害性 : データなし
- ・特有の消火方法 : データなし
- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

：空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - ：作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 - 換気をよくして、蒸気の吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項
 - ：データなし
- ・回収、中和
 - ：大量の水で漏洩した製品を洗い流す。
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材
 - ：危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
 - 技術的対策
 - ：作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 - 安全取扱注意事項
 - ：換気の良い区域で使用すること。
 - この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 - 吸入又は飲み込まないこと。
 - 取扱い後は、手を洗うこと。
 - 接触回避
 - ：（10. 安定性及び反応性の項を参照）
 - 衛生対策
 - ：取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保管
 - 安全な保管条件
 - ：ボトルを密栓して、冷暗所に保存する。
 - 安全な容器包装材料
 - ：包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度等
 - ：TLV は設定されていない。
- ・設備対策
 - ：特別な換気要求事項はない。
- ・保護具
 - 呼吸用保護具
 - ：換気が十分でない場合には、保護マスクを着用すること。
 - 手の保護具
 - ：不透性保護手袋を着用すること。
 - 眼、顔面の保護具
 - ：側板付保護眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
 - 皮膚及び身体の保護具
 - ：長袖保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- ・物理状態
 - ：液体
- ・色
 - ：無色透明
- ・臭い
 - ：データなし
- ・融点／凝固点
 - ：データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲
 - ：データなし
- ・可燃性
 - ：データなし
- ・爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
 - ：データなし
- ・引火点
 - ：データなし
- ・自然発火点
 - ：データなし
- ・分解温度
 - ：データなし
- ・pH
 - ：データなし
- ・動粘性率
 - ：データなし
- ・溶解度
 - ：水と自由に混和する
- ・n-オクタノール／水分配係数(log 値)
 - ：データなし
- ・蒸気圧
 - ：データなし
- ・密度及び／又は相対密度
 - ：データなし
- ・相対ガス密度
 - ：データなし
- ・粒子特性
 - ：データなし

10. 安定性及び反応性

- ・反応性
 - ：データなし
- ・化学的安定性
 - ：通常の保管状態では安定である。
- ・危険有害反応可能性
 - ：データなし
- ・避けるべき条件
 - ：加熱昇温
- ・混触危険物質
 - ：データなし
- ・危険有害な分解生成物
 - ：データなし

11. 有害性情報

- ・急性毒性
 - 急性毒性（経口）
 - ：分類できない
 - 急性毒性（経皮）
 - ：分類できない
- ・皮膚腐食性／刺激性
 - ：分類できない
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
 - ：分類できない
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性
 - 呼吸器感作性
 - ：分類できない
 - 皮膚感作性
 - ：分類できない
- ・生殖細胞変異原性
 - ：分類できない
- ・発がん性
 - ：分類できない

- ・生殖毒性 : 分類できない
- ・特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 分類できない
- ・特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 分類できない
- ・誤えん有害性 : 分類できない

1.2. 環境影響情報

- ・生態毒性 : 分類できない
- ・残留性・分解性 : データなし
- ・生体蓄積性 : データなし
- ・土壌中への移動性 : データなし
- ・オゾン層への有害性 : 分類できない

1.3. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物 : 廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
- ・化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1.4. 輸送上の注意

- ・海上 (IMDG)
 - 国連番号 : 非該当
 - 品名 (国連輸送名) : 非該当
 - 国連分類 : 非該当
 - 容器等級 : 非該当
- ・航空 (IATA)
 - 国連番号 : 非該当
 - 品名 (国連輸送名) : 非該当
 - 国連分類 : 非該当
 - 容器等級 : 非該当
- ・特別の安全対策 : 運搬に際しては内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷が生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

1.5. 適用法令

- ・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
 - 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 - 医薬品医療機器等法 : 非該当
 - 労働安全衛生法 : 非該当
 - 化学物質排出把握管理促進法 : 非該当

1.6. その他の情報

引用文献

- 1) 14906 の化学商品 化学工業日報社 (2006)
- 2) 国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版 化学工業日報社

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成していますので、新しい知見によって改訂されることがあります。記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保証するものではありません。